SELF LOCK
セルフロック[墜落阻止器具]

ENDO

ENDOのセルフロックは
墜落の恐怖からあなたを守る

ENDOのセルフロックは――

高所作業は体力の消耗や精神的な疲労、そのうえ風圧や震動などにより常に危険にさらされています。高所で作業する人々が安全に、そして自由に作業していただくことを目的に開発された画期的な製品です。

こんなところに――――――

土木、建設、造船、橋梁、鉱山、電気工事、あらゆる高所作業にぜひご利用ください。

使用例

■構造・特長

●密封されたアルミ合金製のケース内には、ワイヤロープを巻き取るドラムがあり、それに内蔵されたスプリングの力により、ワイヤロープが巻き取られます。又、遠心力によるラチェット機構が組込まれており、引き出し速度により、自由に引き出されたりロックしたりする構造になっています。

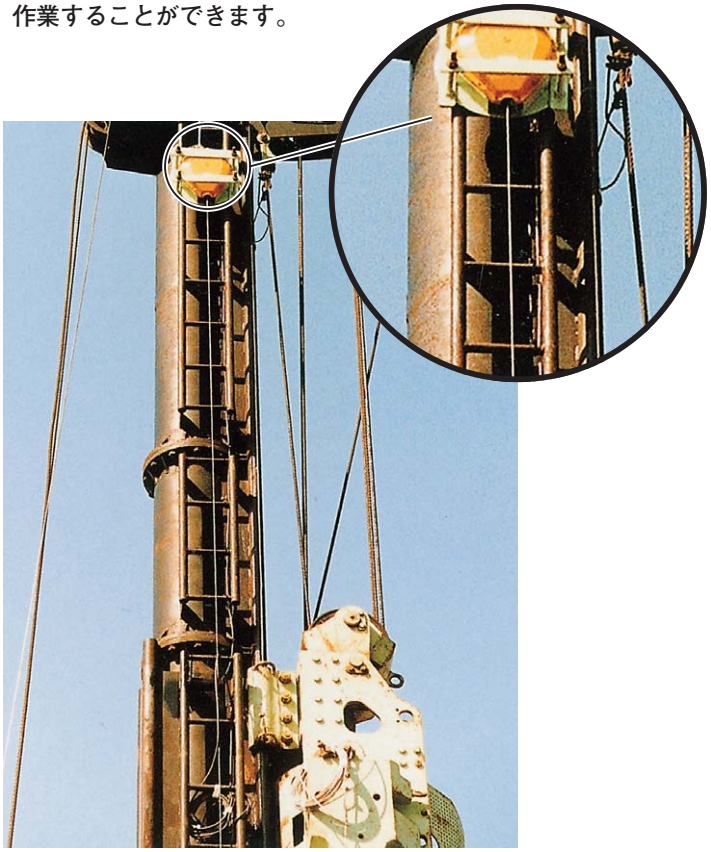
注)SLM-12、15はステンレスボディです。

●ワイヤロープは、人の歩く程度の速さ以下なら自由に引き出せますが、その限界速度を超えると瞬時にラチェットが、ドラムまたはケースに固定されているラチェットホイールにロックし、ロープの繰出しが停止し、墜落を阻止します。

ロープをゆるめると、ロックは開放され再び引き出すことができます。

注)SL-30H,35H・SLM-12,15・SLH-20は、緩衝装置が組込まれていますので、落下距離はSL-7H,10L,17H,25Lに比べ長くなります。

●全機種ともスプリングによる自動巻き取り式ですので、ワイヤロープがゆるんだりすることは無く、安全に、自由に作業することができます。



■設置例

杭打ち機に設置する場合、震動や強風などによりSL本体が激しく揺れることにより、杭打ち機本体に打ち付けられボディが破損するおそれがあります。図のようにSLを鉄板などで囲い、使用する事を推奨します。

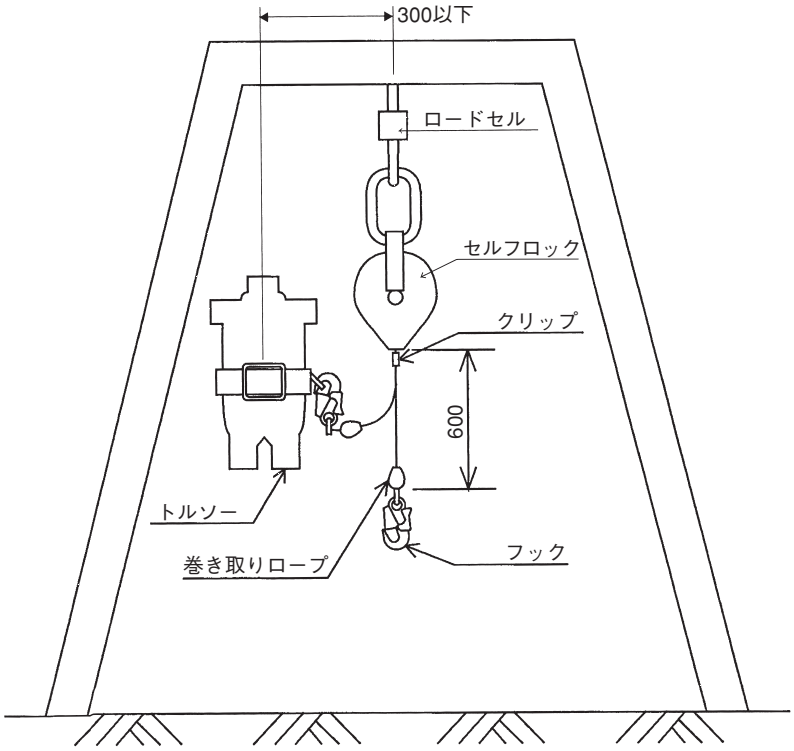
■落下試験

※厚生労働省労働安全衛生総合研究所の「安全帯構造指針」に基づいての試験方法です。

●試験方法

セルフロックの上端を、構造物に設置されたロードセルを備える固定アンカーに取り付ける。

セルフロックからワイヤロープを600㎜引き出し、落下体を落下させる。衝撃荷重及び落下体の落下距離を測定する。



重要事項 （SL型・SLH型・SLM型）

1. セルフロックは、安全を期すため使用、未使用にかかわらず、必ずご購入後3年以内に、その後3年毎にメーカーの検査（総点検）を受けてください。
2. 墜落事故で作動したセルフロックは、絶対に再使用しないでください。必ずメーカーの検査（総点検）を受けてください。
3. セルフロックの取り付けおよび使用の前に、取扱説明書を注意深く読み、ご理解いただいたうえで正しくご使用ください。
4. −10℃〜+50℃の温度範囲でご使用ください。

使用上のご注意 （SL型・SLH型・SLM型）

●水平移動の作業には絶対に使用しないでください。墜落時に横揺れし非常に危険です。
●作業開始前の点検は必ず実施してください。
●ワイヤロープがたるんだままで使用しないでください。
ワイヤロープにたるみが生じた場合は、少し引き出してから巻き取らせてください。
●セルフロックは必ず安全帯と併用し、安全帯のD環にセルフロックの安全フックを直接取り付けてください。
（セルフロックの安全フックを安全帯のフックに取り付けて使用しないでください。）
安全帯は落下傘形式のものをおすすめします。ヘルメットも忘れずに着用してください。
●安全フックの外れ止めが閉じていることを確認してください。
●アングルやH形鋼等の鋭い角に、ワイヤロープを接触させないでください。
作業者が移動するとき、ワイヤロープが構造物に接触しないように注意してください。
●引き出したワイヤロープは手を放して巻き取らせないでください。
ワイヤロープが急速に巻き取られ、セルフロック本体やワイヤロープが損傷し非常に危険です。
●ワイヤロープを形くずれやキンクさせないよう注意してください。
●セルフロックを投げたり、ぶつけたり、引きずらないでください。
●作業終了後は、ワイヤロープを必ず本体内に収納してください。
●屋外に取り付けたまま野ざらしにしないでください。
内部のサビにつながり非常に危険です。
●高湿や強酸性等の腐食性雰囲気、あるいは粉塵の多い場所等の使用環境の悪い場所では各部のいたみが激しいので、頻繁に点検を行なってください。

SL型 人体用

SLH型 人体用

SL-7H,10L,17H,25L

SL-30H,35H

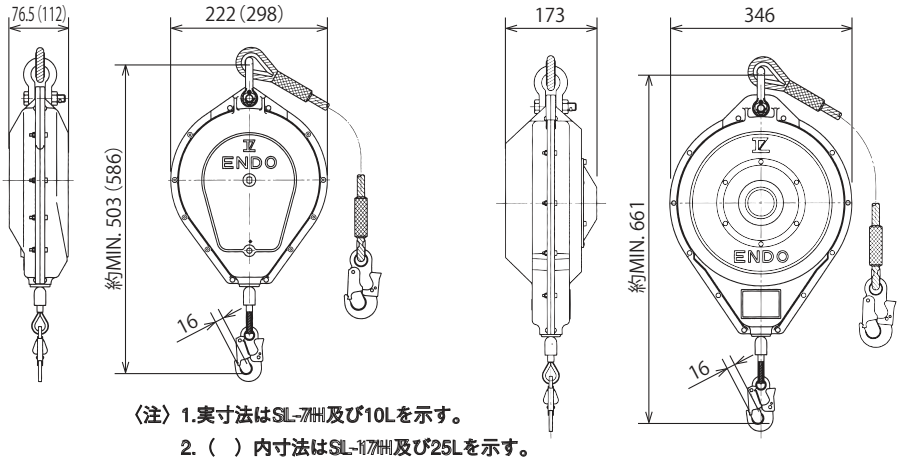
SLH-20

SL-17H

SL-30H

受注停止

■外形寸法図(mm)



〈注〉1.実寸法はSL-7H及び10Lを示す。
2.（ ）内寸法はSL-17H及び25Lを示す。

■仕　様

型　式		SL-7H	SL-10L	SL-17H	SL-25L	SL-30H	SL-35H
使用荷重		30～120kg	30～100kg	30～120kg	30～100kg	30～120kg	30～120kg
使用ロープ		φ4.76	φ4.4	φ4.76	φ4.4	φ4.76	φ4.76
ロープ長さ		7m	10m	17m	25m	30m	35m
性能	連結部の強さ	15.1kN	13.5kN	15.2kN	13.5kN	12.6kN	12.6kN
	衝撃荷重	6.8kN	6.8kN	6.6kN	6.3kN	3.8kN	3.8kN
	落下距離※	0.8m	0.8m	0.8m	0.8m	1.0m	1.0m
質　量		6.5kg	6.5kg	13.5kg	13.5kg	22kg	23kg

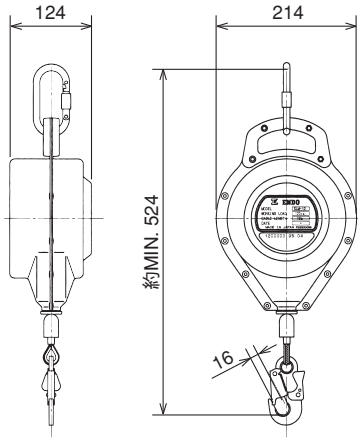
（注）性能は、安全帯構造指針に基づいて当社で試験を行った数値です。
《標準付属品》シャックル・スリングロープ
※停止距離は落下距離より600mmを引いた値になります。

SLM型　人体用

SLM-12,15

SLM-12

■外形寸法図(mm)



■仕　様

型　式		SLM-12	SLM-15
使用荷重		30～120kg	30～120kg
使用ロープ		φ4.4	φ4.4
ロープ長さ		12m	15m
性能	連結部の強さ	14.3kN	14.3kN
	衝撃荷重	3.2kN	3.8kN
	落下距離※	1.1m	1.1m
質　量		7.3kg	7.5kg

(注) 性能は、安全帯構造指針に基づいて当社で試験を行った数値です。
《標準付属品》カラビナ
※停止距離は落下距離より600mmを引いた値になります。

ベルトロック　人体用

BL-6

BL-10

注 意 事 項

屋外での使用後は作業終了と同時に本装置を取り外して、次回使用するまで常温で風通しのよい屋内で保管してください。またやむをえず屋外で保管する場合は、直射日光を避け風雨にさらされないよう、取り付け部を含む装置全体をビニールシート等で保護してください。
ベルトは必ず本装置内に完全に巻き込んだ状態で保管してください。

■仕　様

型　式		BL-6	BL-10
使用荷重		30～120kg	30～120kg
使用ロープ		w27mm×t1.3mm	w27mm×t1.3m
ロープ長さ		6m	10m
性能	連結部の強さ	12.7kN	12.7kN
	衝撃荷重	6.2kN	5.6kN
	落下距離※	0.9m	1.0m
質　量		2.1kg	3.7kg

※停止距離は落下距離より600mmを引いた値になります。
※使用可能温度の目安：-10℃～+50℃
　凍結の可能性のある環境でのご使用・保管はしないでください。
製造元　ポリマーギヤ株式会社

SLG型 剛体用

高所に設置した機器や昇降物の落下を防止します。
ワイヤロープの繰出し速度がロック限界速度を超えると、装置が落下を検出します。
工場内に設置される各種機器や壁面ロボット、体育施設等の落下防止に最適です。

SLG-250-6/12

■特　長

●衝撃吸収システム（緩衝装置内蔵）の採用により、落下時の衝撃を緩和します。

●動力にスプリングを使用しており、電気配線やエアー配管など一切必要ありません。

●ワイヤロープはスプリングによる自動巻き取り式の為、ゆるんだりすることはありません。

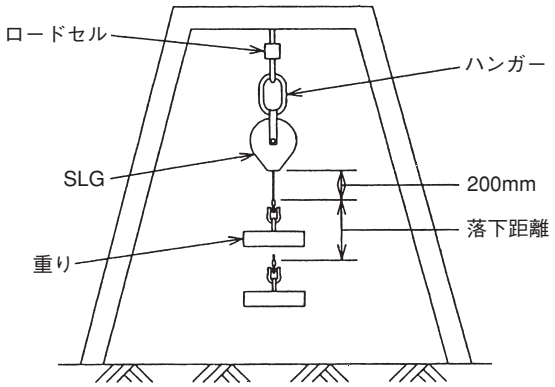
●堅牢、かつシンプルな設計により取り付けが容易です。

※人体には使用できません。人体用には当社セルフロックSL型、SLH型、SLM型シリーズをご用命ください。

■落下試験データ

1. 試験方法

SLGの上端を、構造物に設置されたロードセルを備える固定アンカーに取り付ける。
SLGからワイヤロープを200㎜引き出し、重りを落下させる。
衝撃荷重及び重りの落下距離を測定する。



2. 試験結果

SLG-100A

重り kg	No.	衝撃荷重 kN {kgf}	落下距離 mm
60	1	3.6 {370}	350
	2	3.5 {360}	280
100	1	3.6 {370}	430
	2	4.7 {480}	380

SLG-250-6/12

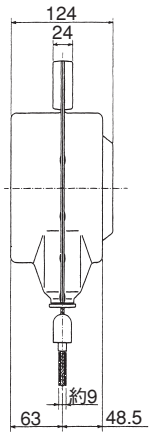
重り kg	No.	衝撃荷重 kN {kgf}	落下距離 mm
80	1	7.8 {790}	260
	2	8.3 {840}	230
150	1	6.8 {690}	200
	2	8.1 {820}	190
250	1	7.7 {780}	510
	2	8.7 {880}	430

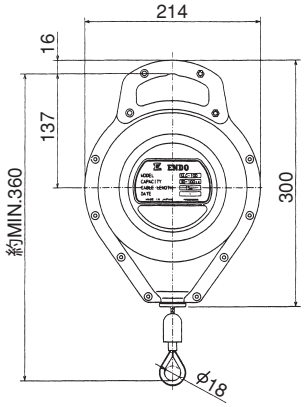
※当社試験による数値です。

■仕様・外形寸法図（mm）

型　式	SLG-100A
容量範囲	30～100kg
最大張力	39N {4kgf}
使用ロープ	φ4.4
ロープ長さ	12m
ロック限界速度	45m/min以上
落下距離	約700mm
質　量	7.1kg

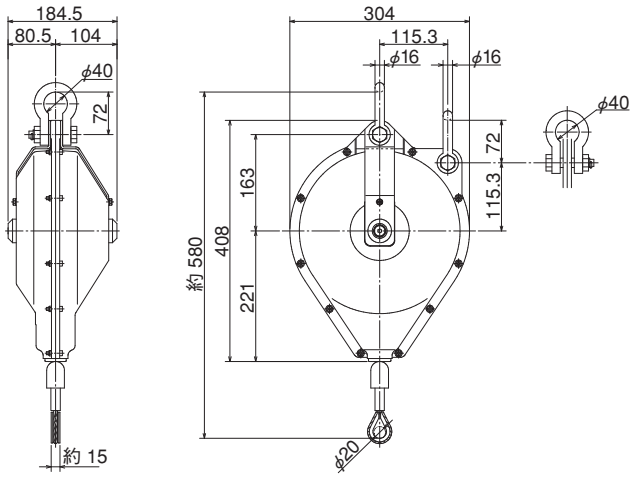
SLG-100A





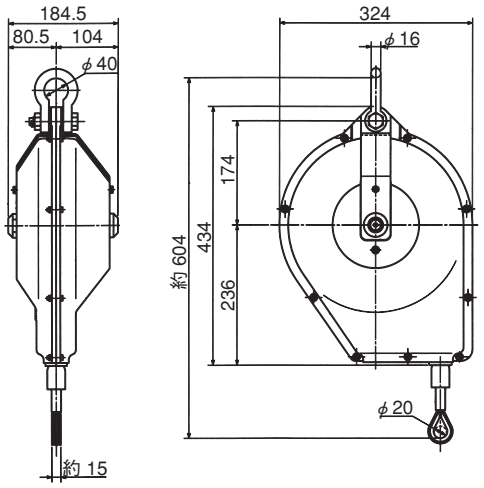
型　　式	SLG-250-6	SLG-250-12
容　量　範　囲	50～250kg	
最　大　張　力	24N {2.4kgf}	
使用ロープ	φ6.35	
ロープ長さ	6m	12m
ロック限界速度	50m/min以上	
落下距離	約1,500mm	
質　　量	15.8kg	16.9kg

SLG-250-6/12



型　　式	SLG-500
容　量　範　囲	50～500kg
最　大　張　力	24N {2.4kgf}
使用ロープ	φ6.35
ロープ長さ	18.5m
ロック限界速度	50m/min以上
落下距離	約1,000mm
質　　量	19.6kg

SLG-500



重要事項

1. 落下事故で作動したセルフロックは、絶対に再使用しないでください。必ずメーカーの検査(総点検)を受けてください。
2. セルフロックの取り付け及び使用の前に、取扱説明書を注意深く読み、ご理解いただいたうえで正しくご使用ください。
3. －10℃～＋50℃の温度範囲でご使用ください。

使用上のご注意

●水平移動用には絶対に使用しないでください。落下時に横揺れし非常に危険です。
●作業開始前の点検は必ず実施してください。
●ワイヤロープがたるんだままで使用しないでください。
　ワイヤロープにたるみが生じた場合は、少し引き出してから巻き取らせてください。
　巻き取り速度が遅いと乱巻により、ワイヤロープをすべて巻き取らない場合があります。
●アングルやH形鋼等の鋭い角に、ワイヤロープを接触させないでください。
●引き出したワイヤロープは手を放して巻き取らせないでください。
　ワイヤロープが急速に巻き取られ、セルフロック本体やワイヤロープが損傷し非常に危険です。
●ワイヤロープを形くずれやキンクさせないよう注意してください。
●セルフロックを投げたり、ぶつけたり、引きずらないでください。
●作業終了後は、ワイヤロープを必ず本体内に収納してください。
●野外に取り付けたまま野ざらしにしないでください。内部のサビにつながり非常に危険です。
●高湿や強酸性等の腐食性雰囲気、あるいは粉塵の多い場所等の使用環境の悪い場所では各部のいたみが激しいので、頻繁に点検を行なってください。

特別付属品

SL・SLH・SLM型用

■プルロープ（ビニロンロープφ3）

高所に据え付けたセルフロック本体よりワイヤロープを引き出す時に、ご使用ください。

プルロープ

ロープ長さ	品　番	適用型式
10m	LSP000028	SL-7H,SL-10L
14m	LSP000073	SLM-12
17m	LSP000029	SL-17H,SLM-15
22m	LSP000127	SLH-20
28m	LSP000030	SL-25L
32m	LSP000074	SL-30H
35m	LSP000031	SL-35H

■スリングロープ

SLH・SLMシリーズで、附属のカラビナを使用して直接取り付けできない時に、ご使用ください。

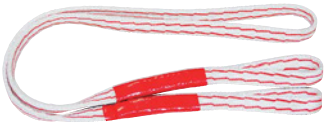
スリングロープ

品　番	適用型式
P2S300009	SLH-20,SLM-12・15

ベルトロック用

■台付けロープ

BL-6・BL-10シリーズで、ベルトロックを直接取り付けできない場合に、ご使用ください。



ENDO　ホームページアドレス http://www.endo-kogyo.co.jp　SELF LOCK

遠藤工業株式会社

本社営業部　新潟県燕市秋葉町3丁目14番7号
〒959-1261 TEL(0256)62-5133 FAX(0256)62-5772

東京営業部　東京都千代田区神田東松下町12-2　JBSL神田ビル2F
〒101-0042 TEL(03)5295-3711 FAX(03)5295-3717

大阪営業部　大阪市浪速区幸町2丁目3番14号　ダイトービル3F
〒556-0021 TEL(06)6568-1571 FAX(06)6568-1573

名古屋営業所　愛知県名古屋市中区大須1丁目7番14号　パークMIビル3F
〒460-0011 TEL(052)253-6231 FAX(052)253-6240

九州営業所　福岡市博多区博多駅東3丁目11番15号　文喜ビル3F
〒812-0013 TEL(092)412-5281 FAX(092)412-5280

ISO9001 JP97/010458
認証取得：本社,工場

ISO14001 JP10/070952
認証取得：本社,工場

※当カタログ記載の商品は性能向上の為、予告なく変更することがあります。※当カタログの作成に際してあらゆる注意を払いましたが、弊社は誤記、脱漏に関して責任を負いません。

2022年2月に印刷しました。EC-61N 1000 Ⓝ